

平成 30 年度 研究成果報告書
Research Achievement Report FY2018

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカ I 講座 教授
氏名 Name	貴志 雅之
専門分野 Academic Field	アメリカ演劇

主たる研究テーマ Principal Research Subject	アメリカ演劇の政治文化研究—ポストヒューマン・エコロジー、小説と演劇のインターフェイス、大西洋を挟む演劇の地政学
<p>本年度は当初の研究計画の 3 つの研究項目に基づき、合計 4 つの研究成果を発表した。</p> <p>(1) ポストヒューマニズムとエコクリティシズムを援用したエドワード・オールビーの <i>Seascape</i> 研究：同研究成果を「ポストヒューマン・エコロジーに向けて—<i>Seascape</i> における種間遭遇」と題して日本アメリカ演劇学会第 8 回大会でシンポジウム「Edward Albee の詩学」（2018 年 8 月 26 日，HOTEL ルブラ王山）で発表。</p> <p>(2) ヘンリー・ジェイムズの劇作研究：2017 年 8 月の日本アメリカ演劇学会第 7 回大会シンポジウムでの研究発表「劇作する小説家ヘンリー・ジェイムズ—小説と演劇のインターフェイス」をさらに展開し、論考として執筆し、同論文は『アメリカ演劇』30 号（日本アメリカ演劇学会，2019 年春発行予定）で掲載。</p> <p>(3) 本学言語文化共同研究プロジェクト 2018 「大西洋を挟む演劇の地政学—イギリス、スペイン、アメリカ」の一環としての「オーガスト・ウィルソンの『20 世紀サイクル』における『骨の町』の表象論」研究を、日本英文学会関西支部第 13 回大会（2018 年 12 月 8 日，神戸女学院）で「覚醒のヴィジョン—August Wilson の「20 世紀サイクル」における「骨の町」／「骨の人々」」を題して招待発表として発表。</p> <p>(4) 上記(3)の研究をさらに展開した同一題目の論考を本学言語文化共同研究プロジェクト 2018 の特集号となる大阪大学言語社会学会誌『EX ORIENTE』（26 号，2019 年 3 月）で発表。</p>	